

第 92 回番組審議委員会議事録

日時：令和 3 年 5 月 19 日（水）13 時 30 分～

場所：富士市民活動センター/コミュニティエフ（富士市吉原 2 丁目 10 番 20 号）

1. 委員総数 9 名
2. 出席委員数 4 名
3. 出席委員の氏名
遠藤芳幸 委員長・稲葉美津江 副委員・土橋矢兼 委員・内藤佑樹 委員（順不同）
4. 放送事業者出席者名
小沢教司 常務取締役・山本茂 統括部長 他 1 名

遠藤芳幸委員長：ごあいさつ

今日は人数が少ないですがよろしくお願ひします。

小沢常務取締役：ごあいさつ

今日は雨の中お越しいただきありがとうございます。今月から 17 期に入りましたが、ちょうど仮決算が出ました。1 年間心配でしたが、ここ 3 年間で 1 番いい数字が出ています。これもスポンサーをはじめみなさまのおかげだと思っています。ありがとうございます。

前回の報告

山本：前回は、ときめき倶楽部という高齢者向けの番組をご審議いただきました。エンディングノートなどについては世間でも取り上げられている問題で、好評をいただきました。現在表立って放送している高齢者向けの番組はときめき倶楽部だけですが、これからニーズは高まると思いますので、高齢者向けの生活や娯楽情報の番組を増やしていきたいと思っています。

番組審議

- ・テーマ 番組「地域密着戦隊NORAダラー」
- ・放送日時 2021 年 3 月 15 日（月）
（毎週月曜日 15：30～16：00 OA 生放送）
- ・出演 ナビゲーター 佐野裕美/難波りょう
- ・番組編成制作方針、説明
- ・質疑応答

山本：今回は以前審議いただいたことのある「地元密着戦隊 NORA ダラー」

週に1回、毎週月曜日の15時30分から放送している30分番組をお聴きいただきます。コミュニティエフエムの特徴としてローカル性が強いので、地元性を前面に打ち出しながら魅力をコミカルに伝えていこう！というのがこの番組のメインのコンセプトです。出演者の特性として、ラジオドラマにも挑戦をされていて、楽しみながら番組を作り盛り上げています。

約15分後

山本：番組の半分くらいを聴いていただきました。ご審議いただきたいと思います。

内藤委員：説明を聞いてもよく分からなかったですが、工場の臨場感があり面白かったです。津田製紐所さんは同級生なのですが、頑張っているなと感じました。

遠藤委員長：音も良く入ってきて、働いている人の感じも分かりました。ラジオだとテレビのように細かい部分は伝わらないかもしれませんが、聞いていて面白かったと思います。

土橋委員：今回は音がひとつのキーとなっていたと思います。インタビューをしている後ろの方で音が入ってきて、現場感がありました。兄弟で工場を経営されているということですが、年齢などもう少し出演者の情報があるといいと思いました。また、社長が変わって新たなブランドを立ち上げたということでしたが、新ブランドを立ち上げたきっかけなども聞けると良かったです。従業員にもインタビューをされていて、何十年も働いているということだったので、長く続けられる理由なんかも知りたかったです。

遠藤委員長：インタビューの中でも、かつては富士市内に60社ほど製紐所があったと言っていました。現在は3・4社しかないということで、この時代に生き残っているところは強いと感じます。

稲葉副委員：ナビゲーターの2人を知っていますが、聞きやすい声なのでよく耳に入ってきました。工場での織物機械の音は結構うるさいですが、そんな中でも聞きやすく、また、高齢の従業員の話もうまく引き出していたと思います。

遠藤委員長：こうやって地味な職種にスポットライトを当てていくのはいいですね。

土橋委員：ネット販売をやっているそうですが、この辺で買えるお店はあるのでしょうか？

山本：首都圏の人向けに売っているようです。

遠藤委員長：ラジオエフのすぐ近くのイトウチダさんは 100 年続いたお店ですが閉められるということで、こういった長く続いたお店が閉まる場所にもインタビューしてみるのもいいかもしれません。今回のインタビューの場合は、兄弟でやっている会社なので、兄弟の関係性をもっと知れたら良かったです。

企業紹介の場合は経営者に聞くことが多いですが、従業員にも聞いていたところが良いと思いました。岳南地域はかつて製紐所が多かったので、その辺の歴史にも触れるともっとよかったかもしれません。

稲葉副委員：地元にもまだ知らないことを知れるのでいいと思います。

小沢：本日はありがとうございました。次回は 7 月 7 日水曜日の午後 1 時 30 分からです。よろしくをお願いします。